

としょしつ 図書室だより

あずま北図書室



令和7年5月号



新学期が始まり、約2か月が過ぎました。夏のようにあつい日と梅雨のように雨が続く日とお天気が安定しないですね。外で遊べる日は、思いっきり体をうごかして、雨の日はあたまやこころをうごかして読書を楽しみましょう。

がっきゅうぶんこ 学級文庫



学級文庫は、図書委員さんが選んだ本を毎月入れ替えて教室に置いていきます。

読書ラiserカードも一緒に配るので、読んだらカードにチェックしてください。

いつもは、自分では選べないような本もあると思うので、ぜひ朝読書の時間や休み時間に読んでみてください。



としょいいん かつどう 図書委員の活動

1年生に、たくさん本をよんでもらいたいとねがいをこめて、委員さん手作りのしおりをプレゼントしました。

図書委員さんが選んだ本の読み聞かせもしました。

これからも、読書のイベントをおこなっていこうと思っています。たくさん、さんかしてくださいね。



なぜ本を読んだほうがいいのか？についてかかれた記事がありましたので紹介します。

(一部抜粋して紹介します)

講演「読書と脳について」

とうほくだいがく かわしまりゆうだせんせい
東北大学加齢医学研究所教授 川島隆太先生

私たちの脳と読書は、いったいどうつながっているのかについて、わかってもらいたいと思います。私たちの脳は、場所ごとに違う仕事をしているのですが、その中に、みんなの将来の夢をかなえてくれる場所があることに先生たちは気が付きました。それは、脳の前方にある「前頭前野」というところです。この場所からは、考える力、がまんする力、友だちと仲良くする力、がんばる力、何かをおぼえる力や学ぶ力が生まれてくることがわかりました。

みんなが、どんな夢をもっていたとしても、その夢をかなえてくれる力を前頭前野がもっていることに気づいたのです。

この大事な前頭前野はどうやったらきたえることができるのでしょうか？先生たちは調べました。

そして読書をしているとき、前頭前野がとびきり使われていることがわかりました。前頭前野をきたえるのに読書が一番いい方法で、その他にも人と目と目を見ながら話をすること、友だちと遊ぶことも前頭前野をきたえてくれることがわかりました。たくさんきたえて自分自身の将来の夢をがっちりとつかんでもらいたいと思います。

と、ありました。読書をしっかりと友だちと遊んで、お家に帰ったら今日あったことをいっぱい脳をきたえることになります。